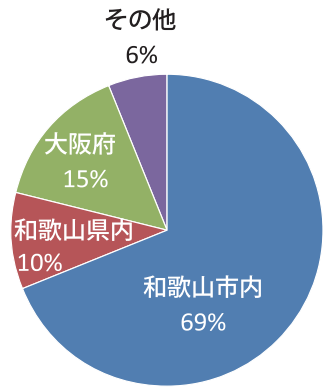


アンケート結果

今回の社会実験では、芝生エリアおよび市堀川クルーズの利用者と、市駅まちぐるみミュージアムの参加者を対象にアンケートを実施しました。集計結果の一部をご紹介します。

■芝生エリアについて

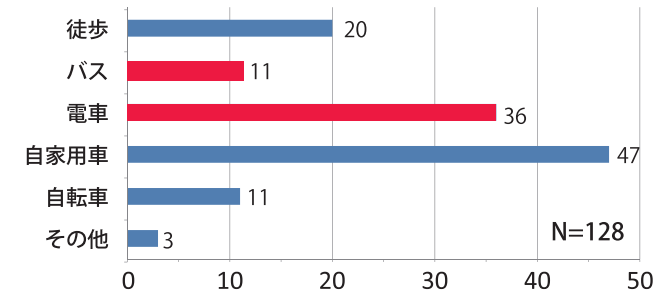
Q. お住まいはどちらですか？



N=119

昨年と比べて和歌山市内以外からの来場者が増加しました。この社会実験が他地域でも徐々に認知されるようになってきたことがうかがえます。

Q. 今日どの交通手段を使って来られましたか？
(複数回答)

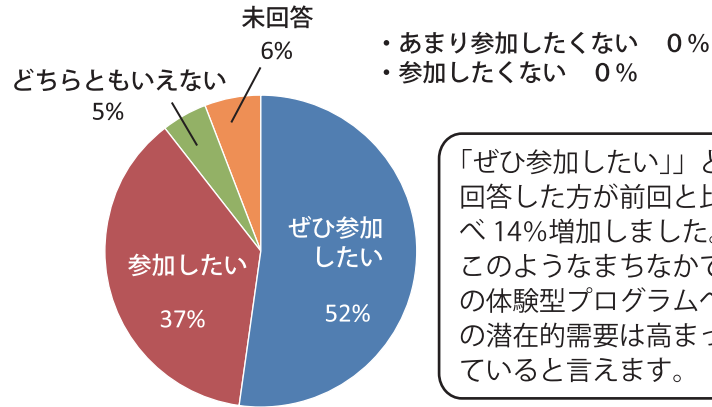


N=128

和歌山バスや南海電鉄との協力もあり、昨年と比べて公共交通を利用している人が増加しました。

■市駅まちぐるみミュージアムについて

Q. 次回このような企画があれば参加したいですか？

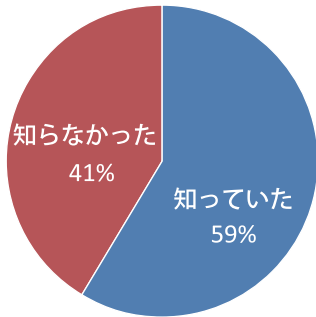


N=86

「ぜひ参加したい」と回答した方が前回と比べ14%増加しました。このようなまちなかでの体験型プログラムへの潜在的需要は高まっていると言えます。

■市堀川クルーズについて

Q. 今回の市堀川クルーズを皮切りに水辺活用の社会実験が実施されることをご存知でしたか？



N=133

「知っていた」と答えた人が半数を超えました。また、「知らなかった」という人にも水辺の社会実験について知ってもらう機会になりました。

市駅まちづくり通信 12

市駅“グリーングリーン”プロジェクト 2017

第12号 2017.11.16 発行：市駅まちづくり実行会議 編集：和歌山大学観光学部永瀬研究室

今年も9月8日（金）～10日（日）の3日間、「市駅“グリーングリーン”プロジェクト 2017 ～市駅前通りを緑と憩いの広場にする社会実験～」を実施しました。3年目となる今回は「公共空間を楽しもう！」をキャッチフレーズに、市駅前から新たなライフスタイルを発信する多彩なプログラムを企画したほか、市駅夏まつり、ポポロハスマーケット、わかやま水辺プロジェクトとも連携して実施しました。さらにクラウドファンディングを通じて地域内外の多くの方々の支援を得るとともに、多数の企業・団体・個人からもさまざまなご協力をいただきました。

◆ 芝生のピクニックエリア

今年「24時間公共空間を楽しむ」をコンセプトに、芝生広場を活用するさまざまな企画を実施しました。朝はヨガの体験教室、日中はピクニックや音楽・ダンスのライブステージ、夜にはトークセッションなど、1日を通じて年齢層やライフスタイルの異なる多くの人々が集う光景が見られました。さらに今回は和歌山の素材を活かす試みも行いました。老舗茶舗の玉林園とコラボレーションしたグリーンカフェを設けたほか、芝生の下には、通常は廃棄される紀州材の樹皮を敷き詰め、天然芝の保水性・通気性とクッション性を高める工夫を行いました。芝生の上にはハンモックとともに紀州材のブランコも設置し、青空の下で子どもたちがいきいきと遊ぶ姿が印象的でした。

くすのき広場
(市駅前通り歩行者天国)



市駅 GGP 2017 関係者・協力者一覧

●主催：市駅“グリーングリーン”プロジェクト 2017 実行委員会
●共催：市駅まちづくり実行会議 [構成団体：市駅地区商店街連盟(市駅前中央商栄会, 市駅東商店街組合)、城北地区自治会(19区, 20区, 22区, 23区, 24区, 35区, 36区)、和歌山大学観光学部永瀬研究室]

●協賛：和歌山市、株式会社玉林園、フォルテワジマ、地酒BOMBER、和歌山ジャズプレーヤーズ協会、株式会社コトブキ、住友生命保険相互会社、和歌山バス株式会社、株式会社スノーピーク、竹中工務店・南海辰村建設・浅川組建設工事共同企業体、大阪ガス株式会社、日本通運株式会社和歌山支店、和泉商会、山中眼科、中谷クリニック、梅田千景、角前克己、佃理予

※個人の方については1万円以上のご協賛をいただいた方のみ掲載しています。

●協力：城北地区連合自治会、雄湊地区連合自治会、和歌山市立伏虎義務教育学校育友会、孫市の会、株式会社メガチューブ、わかやま農業協同組合、和歌山県森林組合連合会、池内興業合同会社、和歌山木材協同組合、株式会社星田建設、有限会社アルゴス、和歌山大学観光学部、和歌山大学COC+推進室、セブンイレブン和歌山市駅前店、和田真奈美(ポスターデザイン)、水谷陽太郎(PA協力)グラスまちライブラリー、ポポロハスマーケット実行委員会、市駅夏まつり実行委員会、わかやま水辺プロジェクト

●後援：和歌山県、和歌山市教育委員会、和歌山商工会議所、和歌山県観光連盟、和歌山市観光協会、南海電気鉄道株式会社

市駅まちぐるみミュージアム 協力者一覧

南海電気鉄道株式会社和歌山支社、SHI-EKI A la mode、孫市の会、ayarn、チームモロッコカゴ、(株)をぐらや、南海薬品、ハンドメイドアクセサリーmonmon、ホビーショップサンドウ、liliputiense、yoga&LIFE's Citta、蓮舞ヨガスタジオ、さんくらふと、felice、べにや着付教室、酒の道場 花野酒店、piatto 城下町の八百屋さん、渥美正道(中国語教室)、和歌山市立博物館、和歌山市民図書館、和歌山市立こども科学館、和歌山大学観光学部 科学文化ゼミ (敬称略・順不同)

編集後記

今年度も無事に社会実験を終えることができました。クラウドファンディングなどの新たな挑戦に試行錯誤を重ね、我々としても貴重な経験となりました。何より地域の皆さまの思いと熱意があっこそ、実現することができたものと思っております。関係者並びにご協力いただいた全ての皆さまに、心より御礼申し上げます。来年は和歌山市役所が中心となって市駅前通りの社会実験を行う方向で検討が進められています。3年間の社会実験の成果がどのように活かされていくのか、今後の動きに注目していきたいと思ひます。

永瀬研究室3回生 味村 亮佑

昼

芝生広場の横には、グリーンソフトで有名な玉林園とコラボした「玉林園グリーンカフェ」が出店しました。



玉林園グリーンカフェ



昼にはテントを利用した「CAMP LIBRARY」も登場

朝



芝生の上で朝ヨガ

芝生広場の一日 公共空間を楽しもう！

昼



ライブステージ

夜



公共空間トークセッション

夜にスタッフがキャンプをしました



各地で先進的な取り組みをされている行政・大学・民間の関係者をゲストにお招きし、「暮らしを豊かにする公共空間のつくり方」をテーマに、これからのまちづくりについて考えました。

🌲 オープンカフェエリア

くすのき広場
(市駅前通り歩行者天国)

今年は芝生のピクニックエリアの北側に、3日間連続でオープンカフェエリアを設けて、日中は「カフェ&グルメガーデン」、夜は「地酒・ビアガーデン」を開催しました。多彩な飲食店が集まる「カフェ&グルメガーデン」では、木陰のパラソルの下で語らいながら食事を楽しむ人々の姿が多く見られました。「地酒・ビアガーデン」では、「地酒 BOMBER」の協力のもと、和歌山の8つの酒蔵の地酒が並び、スタッフと地酒の魅力を語りながら飲み比べをする人も多く見られました。地元のお酒の美味しさにあらためて気づく機会となったと、来場者に好評でした。



🌲 市駅夏まつり / マーケットエリア

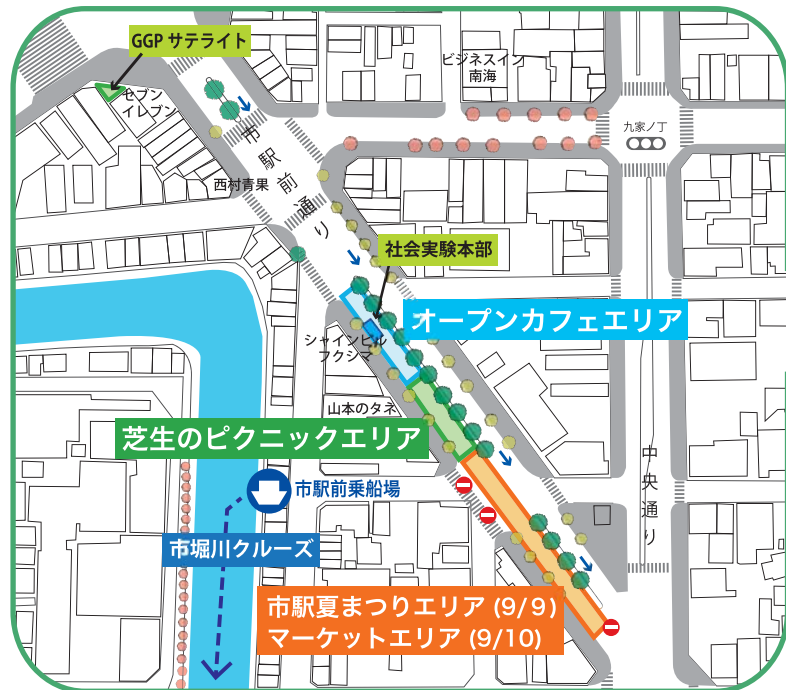
くすのき広場
(市駅前通り歩行者天国)

芝生エリアの南側では、9月9日(土)には「市駅夏まつり」、9月10日(日)には「くすのきマーケット」を開催しました。初の歩行者天国での開催となった「市駅夏まつり」では、歩道橋の下にステージが設けられ、多彩なイベントや夜店を楽しむ多くの人で賑わいました。「くすのきマーケット」では、アクセサリーや雑貨、和洋菓子や野菜等の店舗のほか、昨年に引き続き和歌山大学の地域活動からの出店もあり、来場者が楽しみながら商品を選ぶ姿が見られました。



🏠 市駅まちぐるみミュージアム

今年も市駅周辺の地域資源の可能性を探るため、複数の施設・店舗・団体の協力を得て、総数23のプログラムを企画しました。9月8日(金)～10日(日)の3日間で参加者は計561人となりました。2回目の開催となる今年は、新たな試みとして、南海電鉄和歌山支社と連携した「南海和歌山車庫見学会」、地元若手有志により企画された「はんなり変身ツアー」の2つのツアープログラムも実施し、幅広い層の方々に楽しんでいただくことができました。参加者からは、「親子で楽しめた」、「まちが賑やかになってよかった」などの声があり、市民がまちの魅力に触れる機会となりました。



🚢 市堀川クルーズ

今年の市堀川クルーズは、和歌山市が主催する水辺活用の社会実験「わかやま水辺プロジェクト」と連携して企画し、9月9日(土)は市駅前発着、10日(日)は市駅前と雑賀橋の間で実施しました。当日は整理券が発行後すぐになくなるなど、毎便ほぼ満席の大盛況でした。10日はぶらくり丁でポポロハスマーケットが開催され、多くの家族連れや、県外からの来訪者にもクルーズを楽しんでいただくことができました。



クラウドファンディング

今年初めて、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」を通じた社会実験の資金調達を試みました。インターネットを通じて全国にプロジェクトを発信するとともに、ご支援のリターン品として、オリジナルグッズの他に体験型のリターンも用意しました。最終的には、59日間で79名の方々から65万9千円ものご支援を得ることができました。募集ページには全国の支援者の方々から温かい応援メッセージもいただき、市駅前のまちづくり活動にとっても大きな活力となりました。市駅グリーンプロジェクトをご支援いただいた多くの皆さま、誠にありがとうございました。

和歌山市駅前から、まちに緑と憩いをもたらす公共空間の可能性を発信したい!

SHI-EKI GLEAN GREEN PROJECT

募った総額 **659,000円**

目標金額 21,000,000円

参加者数 **79人**

募集終了後 **終了**

このプロジェクトは、2017/07/07に募集を開始し、79人の支援により659,000円の資金を集め、2017/09/03 23:59に募集を終了しました。

市駅まちぐるみミュージアム プログラム一覧

- 1 Tシャツ簡単リメイクワークショップ
- 2 浴衣に合う髪飾りを作ろう
- 3 オリジナルピアスを作ろう
- 4 モロッコカゴワークショップ
- 5 手織り布を使って時計を作ろう
- 6 オリジナルトートバック作り体験
- 7 ミニアレンジメント体験
- 8 フェイク多肉植物アレンジ体験
- 9 招き猫絵付け体験
- 10 本革でつくるメガネケース
- 11 シンデレラプロジェクト
- 12 土曜の朝ヨガ
- 13 日曜の朝ヨガ
- 14 ダイエット茶 試飲体験
- 15 ピクルス作り体験
- 16 紀州徳川家伝来の絵画
- 17 小さなバイキング ビック
- 18 ふくろう笛をつくろう
- 19 天体観測会
- 20 雑賀孫市体験コーナー
- 21 魔法の帽子と動物の謝肉祭
- 22 はんなり変身ツアー
- 23 南海和歌山車庫見学会

社会実験基礎データ くすのき広場 (市駅前通り歩行者天国) の3日間の推定利用者数は、約9000人となりました。

- 芝生のピクニックエリア利用者数 ※9/9、9/10の受付時間帯(11時～16時)のみ
- 9月9日(土)
 - ・芝生エリア利用者数: 326人
 - 9月10日(日)
 - ・芝生エリア利用者数: 415人 ※南側受付の14時～16時はカウントせず
- 市堀川クルーズ …2日間の総利用者数: 210人
- 9月9日(土)
 - ・乗船者数: 60人(※市駅前発8便)
 - 9月10日(日)
 - ・乗船者数: 150人(※市駅前発10便、雑賀橋発11便)